

きやら 伽羅のクリスマスコンサート

琵琶×能管×笙で聴く聖夜の物語 2019

12月11日(水)

昼の部 14時開演 * 夜の部 19時開演

各回 先着30名様限定

川村 旭芳 (筑前琵琶)

野中 久美子 (能管)

田島 和枝 (笙・竽)

プログラム

琵琶で語るイエス・キリスト生誕物語 ~能管・笙とともに~

『貴き清らかなこの夕べ』(作詞/野中久美子 作曲/伽羅&田島和枝)

琵琶&能管&笙『神の国』(作詞/W.ヴォーリス 作曲/伽羅)

能管『水辺の声』

そのほか

【昼の部】14時開演 (16時30分 終了予定)

《入場料》 ¥6,000 *青蛾茶房の中国茶&お菓子付き

【夜の部】19時開演 (21時30分 終了予定)

《入場料》 ¥10,000 *冬至の饗応料理付き

《会場》 御殿山倶楽部 武蔵野市御殿山 1-8-13 (井の頭公園側)

デュオ《伽羅》

筑前琵琶奏者の川村旭芳と能管奏者の野中久美子によって2002年に結成されたデュオ。空気を切り裂いて進むような能管の音と、嫋々と響く琵琶の音が、時に交じり合い、時に拮抗し合いながら、独特の音世界を織り上げてゆく。2005年開催の愛知万博「愛・地球博」、2013年出雲大社式年遷宮奉祝行事を始め、各種イベント・行事などに出演。神社・仏閣・キリスト教会から町家・銭湯まで、人の集まる様々な場での演奏活動を展開している。



川村旭芳（かわむらきよほう） 筑前琵琶

8歳の頃、筑前琵琶日本旭会 総師範 故二代柴田旭堂師に入門。現在、筑前琵琶日本旭会 師範。独奏の弾き語りを中心に据えつつ、他分野との共演にも力を注ぐ。古典の琵琶曲を継承しながら、新作の創作にも取り組む。NHK-FM「邦楽のひととき」ほか出演。箏・尺八・胡弓などの演奏家4人で結成された和楽器ユニット「おとぎ」代表。日本詩吟学院 兵庫中央岳風会 会員。公式サイト <http://www.kyokuho-biwagaku.jp/>



野中久美子（のなかくみこ） 能管

京都市生まれ。1986年、国際基督教大学（ICU）教養学部卒業。能管を松田弘之（能楽笛方森田流）に師事。独奏のほか、世界の様々な楽器や舞、朗読との共演も行い、能管のもつ情動性や身体感、力感などの楽器の特性を生かした新しい作品を創作している。「風迺舎」主宰。公式 Facebook「野中久美子 風迺舎」



田島和枝（たじまかずえ） 箏・竽

箏を豊英秋（元宮内庁楽部首席楽長）、宮田まゆみ、石川高に、古代歌謡と右舞を豊英秋に、雅楽を故芝祐靖の各氏に師事。雅楽古典曲から現代曲まで多方面で演奏活動を行う。箏一管での響きを軸に様々なアーティストと共演。雅楽演奏団体「伶楽舎」に所属。「おとのひとひら」主宰。



井戸理恵子（いどりえこ） 民俗情報工学研究家 養生料理・饗応料理家

北見市生まれ。大学卒業後、広告出版社、基礎科学系研究所を経て、現職。全国各地を30年以上に渡って採訪、研究を続ける。「伝統」の本質を読み解き、現代に活かす活動を続ける。ラジオ番組の企画監修、他雑誌の執筆他、テレビ、ラジオなどにも出演。養生カフェ経営など。ゆきすきのくにに合同会社代表。多摩美術大学非常勤講師。（株）アルゴグラフィックス社外取締役。著書に『しきたり12ヶ月』（かんき出版）『カミサマを味方につける本』（PHP刊）他。ゆきすきのくにに <https://www.yukisukinokuni.jp/m>, <https://hotsugan-sai.jp>



鈴木朋博（すずきともひろ） 中国茶 高級評茶師

静岡県生まれ。小さい時から茶畑が身近に有る環境で育つ。親戚は100年以上の歴史を持つ茶農家。某広告代理店で飲料メーカーの仕事をする事で中国茶に目覚め、休みの毎中国の奥地に茶を求めて彷徨する。現在東京吉祥寺南口で秘境のお茶が飲める青蛾茶房を運営している。第3日曜日にはハモニカ横町で手頃な価格で美味しいお茶が飲める朝市も行っている。NHK 民放 各種雑誌に紹介される。

《お申込みについて》

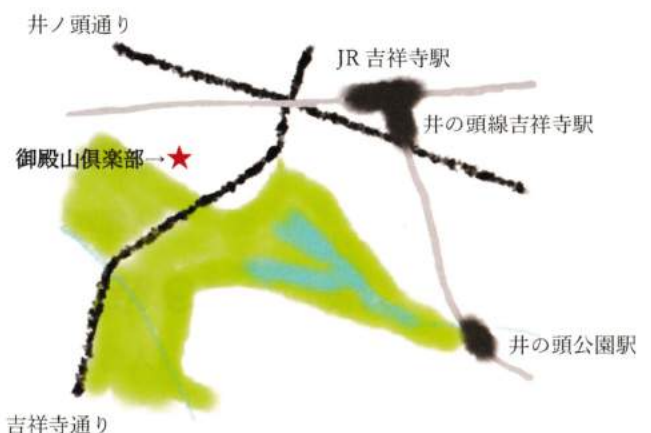
お席に限りがございます。メール・電話・Facebook イベントページなどで必ずご予約をお願いいたします。ご予約の後、下記口座へ参加費をお振り込みください。ご入金の確認後に折り返しご連絡を申し上げます。

郵便振替口座 ふうちょうしゃ
00970-4-175908 風迺舎



←Facebook イベントページ

御殿山倶楽部周辺



吉祥寺駅（JR/井の頭線）から徒歩約9分